

目次 CONTENTS

I. 総論

1. 小児救急医療とは.....	長村敏生	11
2. 小児救急の現況と課題.....	植松悟子	18
3. 小児のプレホスピタルケア.....	榎本有希	27
4. 育児・医療相談と受診案内.....	吉澤穰治	32
5. トリアージ—院内トリアージを含めて.....	西山和孝	39
6. 小児救急医療における病歴と身体診察.....	伊原崇晃	48
7. 救急外来における感染対策.....	宮入 烈	54
8. 災害における小児救急医療—災害時小児周産期リエゾン, 災害医療体制, DMAT など.....	岬 美穂	60
9. 成人救急医療との連携.....	賀来典之	65
10. 院内急変と院内救急—とくに Rapid Response System (RRS) について.....	富田健太朗・他	69
11. 小児救急医療における医学教育.....	鉄原健一	76
12. Child Death Review と Preventable Death.....	溝口史剛	79
13. Apparent life-threatening events (ALTE) と Brief resolved unexplained events (BRUE)	中川 聡	85

II. 搬送医療

1. 施設間搬送のチーム構成とメンバーに求められるスキル.....	伊藤友弥	90
2. 施設間搬送時の物品準備.....	黒坂了正	95
3. 搬送時の薬剤準備.....	安田真人	100
4. 搬送時のモニタリングと人工呼吸管理.....	福政宏司	104
5. 重症小児の搬送—高次医療機関の立場から.....	岩田賢太朗	109
6. 重症小児の搬送—地域医療機関の立場から.....	小松充孝	113
7. 新生児搬送.....	廣間武彦	118
8. 広域搬送：空路搬送.....	大西志麻	123
9. 広域搬送：陸路搬送（ドクターカー，新幹線）.....	伊藤友理枝	126
10. 民間航空機搬送.....	多賀谷貴史	132

Ⅲ. 手技・検査・モニタリング

1. 手技

1) 心肺蘇生法	林 健一郎	139
2) 気道確保—緊急時の気道確保, 喉頭狭窄, 気管狭窄, 異物などを含めて	儀間政文	144
3) 酸素療法	梅原 直	148
4) 人工呼吸換気	杉村洋子	154
5) 骨髄針挿入	光錢大裕	158
6) 除細動器と AED	犬塚 亮	163
7) 輸液療法 (急性期)	三浦健一郎・他	167
8) 緊急輸血—主に超大量出血への対応	松井 鋭	171
9) 腰椎穿刺	春日悠岐・他	176
10) 中心静脈路確保	飯島正紀・他	180
11) 胸腔穿刺とドレーン挿入	藤野明浩	186
12) 胃洗浄と活性炭投与	大橋伸介	191
13) 切開排膿と創部縫合一ドレッシングを含めて	芦塚修一	194
14) 関節固定法 (骨折, 捻挫)	関 敦仁	198

2. 検査

1) 血球検査, 凝固機能検査	石黒 精	203
2) 電解質と血糖	谷田川聡也	207
3) 血液ガス分析	小田洋一郎	210
4) 髄液検査	絹巻暁子	214
5) 検尿と尿生化学 (電解質)	神田祥一郎	217
6) グラム染色と細菌培養検査	佐藤公則・他	220
7) 胸部単純 X 線検査	藤川あつ子	224
8) 腹部単純 X 線検査	宮坂実木子・他	236
9) CT 検査—部位別意義と注意点	山口善道	245
10) 脳波検査	一宮優子・他	250
11) 心電図	中野 諭	257
12) 超音波検査: ショック	竹井寛和	263
13) 超音波検査: 頭部	森田清子	272
14) 超音波検査: 心臓	大崎真樹	275
15) 超音波検査: 腹部	富田慶一・他	279
16) 超音波検査: 四肢 (関節炎, 肘内障, 骨折など)	竹井寛和	287

17) 炎症マーカー・感染マーカー—CRP, プロカルシトニン, プレセプシン	鹿間芳明	294
3. モニタリング		
1) 心拍, 血圧 (非観血的, 観血的)	谷 昌憲	298
2) 呼吸器系	竹澤芳樹・他	301
3) 体温	神菌淳司	305

IV. 症候

1. 緊急対応をただちに要する症候		
1) ショック	松田卓也・他	313
2) 呼吸不全	青木一憲	317
3) 意識障害	星野英紀	322
4) けいれん発作 / 重積状態	伊藤昌弘	325
5) アナフィラキシー	野澤正寛	332
2. 症候		
1) 発熱	松島卓哉	338
2) 活気不良と不機嫌 (乳児)	三平 元	342
3) 低体温	中林洋介	346
4) 頭痛	斎藤義朗	351
5) 失神	木下正和・他	354
6) めまい	堀井 新	358
7) 頸部痛	益田博司	362
8) 四肢の麻痺	石井雅宏	365
9) 四肢痛と関節痛	根本菜穂・他	369
10) 動悸	朝海廣子	373
11) 喘鳴 (吸気性・呼気性)	玉井直敬	378
12) 胸痛	林 泰佑	382
13) 脱水症	北山浩嗣	386
14) 嘔吐	西澤拓哉・他	392
15) 下痢	萩原真一郎	396
16) 腹痛	中山佳子	400
17) 吐血, 下血・血便	竹内一朗	404
18) 血尿	芦田 明	408
19) 乏尿・尿閉	小椋雅夫	412
20) 陰部痛	山口孝則	416
21) 鼻出血	本田裕子	420

22) 発疹	稲井郁子	423
23) 紫斑・出血傾向	辻本信一	427
24) 貧血	青木孝浩	432

V. 病態と疾患

1. 神経・筋

1) 細菌性髄膜炎	山中崇之	439
2) 急性脳炎・脳症	奥村彰久	443
3) 脳梗塞, もやもや病, 可逆性脳血管攣縮症候群	西村 陽・他	447
4) 熱性けいれん	夏目 淳	452
5) 脳動静脈奇形	津田恭治・他	455
6) Guillain-Barré 症候群	藤井克則	459
7) 急性小脳失調症	柏井洋文	463
8) 急性散在性脳脊髄炎	野田麻里絵・他	467
9) 水頭症	内山 拓・他	471
10) 顔面神経麻痺	川脇 壽	477
11) 可逆性白質脳症 (PRES)	福田あゆみ	481

2. 呼吸器

1) クループ症候群	横山美貴	484
2) 気管支喘息急性増悪 (発作)	錦戸知喜	488
3) 急性細気管支炎	西田光宏	492
4) 小児の急性肺炎	近井隼人・他	495
5) 膿胸	磯崎 淳	500
6) 気胸・縦隔気腫	西島栄治	504
7) 肺塞栓症	林 拓也	509

3. 循環器

1) 心筋炎と心筋症の急性増悪	進藤考洋	513
2) 急性心不全	濱本奈央	517
3) 無酸素発作	星名 哲	521
4) Ductal shock	大橋直樹	525
5) 感染性心内膜炎	黒崎健一	528
6) 不整脈	宮崎 文	532
7) 高血圧	菊池 透	539

4. 消化器

1) ウイルス性胃腸炎	清水泰岳	543
2) 細菌性腸炎	河島尚志・他	548

3) 腸重積症	岩間 達	553
4) 急性虫垂炎	小西健一郎・他	556
5) 腸閉塞, 絞扼性イレウス	末吉 亮・他	560
6) 胃・十二指腸潰瘍—消化管穿孔を含めて	幾瀬 圭	565
7) 急性肝不全	十河 剛・他	570
8) 急性膵炎—膵胆管合流異常を含めて	平井沙依子・他	575
9) 鼠径ヘルニア嵌頓	松下航平・他	579
10) IgA 血管炎	道下麻未・他	582
5. 内分泌救急		
1) 糖尿病性ケトアシドーシス	吉田 圭・他	587
2) 急性副腎不全	田島敏広	591
3) 甲状腺クリーゼ	南谷幹史	595
6. 代謝救急・電解質異常		
1) 高ナトリウム血症, 低ナトリウム血症—SIADH を含めて	田中絵里子	600
2) 高カリウム血症, 低カリウム血症	奥津美夏・他	604
3) 高カルシウム血症, 低カルシウム血症	藤原幾磨	608
4) 低血糖	小林弘典	612
5) 代謝性アシドーシス	坊 亮輔	617
6) 高乳酸血症	松永綾子・他	622
7) 高アンモニア血症	松本志郎・他	626
7. 腎尿路系		
1) 溶血性尿毒症症候群	伊藤秀一	631
2) 尿路感染症	木全貴久・他	636
3) 急性腎炎 (症候群)	永井 隆・他	641
4) ネフローゼ症候群	南川将吾・他	644
5) 急性腎障害 (急性腎不全)	種市尋宙	648
6) 精巣捻転	長谷川雄一・他	652
7) 尿路結石症	飯田貴也・他	657
8) 嵌頓包茎	長谷川雄一・他	662
8. 血液・腫瘍		
1) 溶血性貧血	中村こずえ	664
2) 播種性血管内凝固 (DIC)	石原 卓・他	669
3) Oncologic emergency	大隅朋生	674
4) 血友病	長江千愛	679
9. 感染症		
1) 敗血症・敗血症性ショック	染谷真紀・他	684

2) 菌血症	松林広樹・他	689
3) ブドウ球菌皮膚熱傷様症候群	村井健美	693
4) 百日咳	岡田賢司	696
5) 結核	宮川知士	700
6) 破傷風—予防を含めて	中野貴司	704
7) 母子感染—TORCH に代表される先天性感染症を含めて	小川英輝	709
8) Toxic shock syndrome, toxic shock like syndrome	庄司健介	714
9) 劇症型 A 群レンサ球菌感染症	堀越裕歩	718
10) インフルエンザ	佐藤晶論	722
11) パレコウイルス感染症	相澤悠太・他	727
10. 精神疾患		
1) 自殺企図	松本俊彦	731
2) 小児の他傷・自傷にであったら	横山貴和子・他	735
3) 神経性やせ症	井口敏之	740
4) 過換気症候群	菊地祐子	743
5) 解離性（転換性）障害	稲崎久美・他	746
6) 幻覚・妄想	赤間史明・他	751
7) 躁状態，うつ状態，パニック発作	大重耕三・他	755
11. 外傷		
1) 頭頸部外傷—脳震盪を含めて	天笠俊介	759
2) 胸部外傷	朱田博聖	764
3) 腹部外傷	近田祐介	768
4) 小児四肢外傷と骨盤外傷の初期治療	江口佳孝	772
5) 挫創，切創，擦過創	彦坂 信・他	777
6) 溺水	金沢貴保	782
7) 消化管異物	朝長高太郎・他	785
8) 気道異物	石立誠人	790
9) 中毒を疑え！—小児救急外来での対応	岸部 峻	794
10) 熱傷	池山由紀	800
11) 電撃傷	林 卓郎	804
12) 動物咬傷と刺傷	辻 聡	809
13) 耳鼻科領域—異物を含めて	原 真理子	812
14) 眼科領域—小児の眼外傷	松下五佳	816
15) 歯科領域	高瀬 亮	820
12. 環境傷害		
1) 熱中症	岩井謙治	824

2) 凍傷 境野高資 829

VI. その他

1. Special health care needs 中村知夫 835
2. 傷害情報の収集とその対策 山中龍宏・他 840
3. 小児虐待と Child Protection Team 田上幸治 844
4. 子ども虐待の地域連携における医療機関の役割 小橋孝介 848
5. 救急で子どもを亡くした家族の支援—グリーンケア 余谷暢之 852

VII. コラム

1. 公共の場でのドクターコール 水野光規・他 859
2. 救急の現場で悪いニュース（話）を伝える際の医療者の対応
— 悪いニュース（話）の伝え方 西村奈穂 867

Key Words Index 871

